

## 県内の周産期医療体制の再編について

### 1 概要

これまで、5つの周産期母子医療センター（県立病院，大分大学医学部附属病院，アルメイダ病院，別府医療センター，中津市民病院）で運用してきた県内の周産期医療体制を，4つの周産期母子医療センター（県立病院，大分大学医学部附属病院，別府医療センター，中津市民病院）へと再編するもの

### 2 背景

県内の5つの周産期母子医療センター（県立病院，大分大学医学部附属病院，アルメイダ病院，別府医療センター，中津市民病院）で，合計27床のNICUを運用してきたが，アルメイダ病院からNICU（新生児集中治療室）6床を廃止したい旨の相談があり，周産期医療協議会にて周産期医療体制の再編について検討を行った結果，国の周産期医療体制整備指針を参考に，県内のGCU（新生児回復期治療室）の機能強化も考慮し，NICUの必要病床数を24床とした。

NICU24床確保のために，県立病院に3床の増床を要請し，NICU病床数について令和元年11月12日県医療計画策定協議会で医療計画の変更案について審議，同日の医療審議会にて当該医療計画の変更を諮問，承認の答申を得た。

### 3 経過

大分県周産期医療協議会にて，来年度からの県内の周産期医療体制の再編について検討を行い，医療資源の課題などから，アルメイダ病院が2次施設として周産期母子医療センターの機能を維持することは困難と判断した。

### 4 医療計画の変更内容

令和2年4月1日より県内の周産期医療体制を以下のとおり再編する。

○県内の周産期母子医療センター（NICU病床数）

| 令和元年度        | 現行（医療計画）     | 令和2年4月1日～    |
|--------------|--------------|--------------|
| 大分県立病院（9床）   | 大分県立病院（12床）  | 大分県立病院（12床）  |
| 大学病院（6床）     | 大学病院（6床）     | 大学病院（6床）     |
| 別府医療センター（3床） | 別府医療センター（3床） | 別府医療センター（3床） |
| アルメイダ病院（6床）  | アルメイダ病院（0床）  | 中津市民病院（3床）   |
| 中津市民病院（3床）   | 中津市民病院（3床）   |              |
| 5施設（27床）     | 5施設（24床）     | 4施設（24床）     |

「大分県医療計画」新旧対照表 (P72～74)

変更後 (令和2年4月1日～)

現 行

第5章 安心で質の高い医療サービス提供  
第9節 周産期医療  
(現状及び課題)

○ 平成17年4月大分県立病院に総合周産期母子医療センターを整備し、大分大学医学部附属病院、別府医療センター、~~中津市立中津市民病院との連携により、空床情報が閲覧できる「大分県周産期医療情報システム」を活用したネットワークを整備しています。~~この全県を1圏域とした医療体制により、主に正常妊娠・分娩、正常新生児や軽度異常の診療を行う一次施設である地域周産期医療関連施設(産科を有する医療機関、助産所)等から搬送されたハイリスク妊産婦や新生児の医療を行っています。

(略)

周産期母子医療センター等の状況

| 施設名                       | 位置付け                      | 所在地            | 産科病床数           |                 | 新生児科病床数         |                 |
|---------------------------|---------------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|                           |                           |                | 床               | (再掲)MFICU       | 床               | (再掲)NICU        |
| 大分県立病院                    | 総合周産期母子医療センター             | 大分市            | 25              | 6               | 36              | 12              |
| 大分大学医学部附属病院               | 産科の三(二)次施設、新生児科(小児科)の三次施設 | 由布市            | (※1)30          | —               | 12              | 6               |
| 別府医療センター                  | 地域周産期母子医療センター             | 別府市            | (※1)35          | —               | 8               | 3               |
| <del>大分市医師会立アルメイダ病院</del> | <del>地域周産期母子医療センター</del>  | <del>大分市</del> | <del>(削除)</del> | <del>(削除)</del> | <del>(削除)</del> | <del>(削除)</del> |
| 中津市立中津市民病院                | 地域周産期母子医療センター             | 中津市            | 35              | —               | 7               | 3               |
| 計                         |                           |                | (※1)125         | 6               | 63              | 24              |

(※1) 婦人科病床を含む病床数

第5章 安心で質の高い医療サービス提供  
第9節 周産期医療  
(現状及び課題)

○ 平成17年4月大分県立病院に総合周産期母子医療センターを整備し、大分大学医学部附属病院、別府医療センター、大分市医師会立アルメイダ病院、中津市立中津市民病院との連携により、空床情報が閲覧できる「大分県周産期医療情報システム」を活用したネットワークを整備しています。この全県を1圏域とした医療体制により、主に正常妊娠・分娩、正常新生児や軽度異常の診療を行う一次施設である地域周産期医療関連施設(産科を有する医療機関、助産所)等から搬送されたハイリスク妊産婦や新生児の医療を行っています。

(略)

周産期母子医療センター等の状況

| 施設名                   | 位置付け                      | 所在地        | 産科病床数     |           | 新生児科病床数   |          |
|-----------------------|---------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|
|                       |                           |            | 床         | (再掲)MFICU | 床         | (再掲)NICU |
| 大分県立病院                | 総合周産期母子医療センター             | 大分市        | 25        | 6         | 36        | 12       |
| 大分大学医学部附属病院           | 産科の三(二)次施設、新生児科(小児科)の三次施設 | 由布市        | (※1)30    | —         | 12        | 6        |
| 別府医療センター              | 地域周産期母子医療センター             | 別府市        | (※1)35    | —         | 8         | 3        |
| <u>大分市医師会立アルメイダ病院</u> | <u>地域周産期母子医療センター</u>      | <u>大分市</u> | <u>16</u> | <u>2</u>  | <u>12</u> | <u>2</u> |
| 中津市立中津市民病院            | 地域周産期母子医療センター             | 中津市        | (※1)35    | —         | 7         | 3        |
| 計                     |                           |            | (※1)141   | 6         | 75        | 24       |

(※1) 婦人科病床を含む病床数

「大分県医療計画」新旧対照表 (P74～75)

| 変更後 (令和2年4月1日～)  | 現 行  |
|--|--|
| <p>(今後の施策)<br/>(1) 周産期医療体制の整備</p> <p>(略)</p> <p>○ 大分県立病院総合周産期母子医療センター、大分大学医学部附属病院周産期母子センター、地域周産期母子医療センターである別府医療センター(削除)及び中津市立中津市民病院との連携による周産期医療ネットワークを強化します。</p> <p>○ ハイリスク症例は、常に受入れ可能な体制を確保します。総合周産期母子医療センターと大分大学医学部附属病院周産期母子センターは、常時ハイリスク症例を受け入れられるように努めるとともに、それができない場合は、総合周産期母子医療センター、大分大学医学部附属病院周産期母子センター、別府医療センター、(削除)中津市立中津市民病院のどこかで受け入れできるよう、総合周産期母子医療センターが連絡調整及び協力要請を行います。また、単純搬送では母体・胎児の救命が困難と想定される超緊急症例等に対応するため、一次施設への緊急援助体制の構築を図ります。</p> <p>(略)</p> | <p>(今後の施策)<br/>(1) 周産期医療体制の整備</p> <p>(略)</p> <p>○ 大分県立病院総合周産期母子医療センター、大分大学医学部附属病院周産期母子センター、地域周産期母子医療センターである別府医療センター、大分市医師会立アールメイダ病院及び中津市立中津市民病院との連携による周産期医療ネットワークを強化します。</p> <p>○ ハイリスク症例は、常に受入れ可能な体制を確保します。総合周産期母子医療センターと大分大学医学部附属病院周産期母子センターは、常時ハイリスク症例を受け入れられるように努めるとともに、それができない場合は、総合周産期母子医療センター、大分大学医学部附属病院周産期母子センター、別府医療センター、大分市医師会立アールメイダ病院、中津市立中津市民病院のどこかで受け入れできるよう、総合周産期母子医療センターが連絡調整及び協力要請を行います。また、単純搬送では母体・胎児の救命が困難と想定される超緊急症例等に対応するため、一次施設への緊急援助体制の構築を図ります。</p> <p>(略)</p> |

「大分県医療計画」新旧対照表 (P76)



